



議会だより

いせん

第72号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3111

編集 議会広報編集委員会

印刷 ㈱奄美新社印刷

新たな伊仙町議会のスタート!!
初議会を終え、前徹志議長を中心に記念撮影 (令和4年2月4日)



議長就任のご挨拶

町民並びに議会だよりをご覧の皆さま、毎日のお仕事お疲れ様でございます。また、平素より議会に対する温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび令和4年1月23日執行の伊仙町議会議員選挙において4期目の当選を果たし、令和4年第1回伊仙町議会臨時会(2月4日開会)におきまして、第37代伊仙町議会議長に就任することになりました。前徹志でございます。

身に余る光栄であり、感謝いたしますとともに責任の重さをひしひしと感じているところでございます。議長として公正かつ円滑な議会運営に取り組みてまいります。

伊仙町には、数々の課題が山積しています。世界自然遺産に見合った有効な施策の実現、さらに一昨年来発生した新型コロナウイルス感染症の拡散により町民生活、経済活動など大きな影響を与えております。徳之島でも多くの感染者が出ており、今後更なる感染拡大が懸念される中、町として万全の対策に努めていかなければなりません。

また、今年度には町民の念願でもあります新庁舎も完成いたします。議会と執行機関との真摯な議論により町民の幸せを第一に考え、様々な課題に対し迅速、かつ的確な施策が実現できるよう推進していかねばなりません。私は議長として安全・安心かつ活力ある、もてなしの伊仙町の実現に向け伊仙町議会が持てる力を十分發揮できるように全力をつくしてまいります。



議長

町民の皆様におかれましては、どうぞ今後とも伊仙町議会に対し、より一層のご指導、ご鞭撻、ご理解を賜りますとともに、伊仙町の更なる発展と町民の皆様ごの益々のご多幸とご活躍をご祈念申し上げます。議長就任の挨拶いたします。

令和4年3月吉日

伊仙町議会議長

前 徹志

伊仙町議会構成

議長 前 徹志

副議長 永 田 誠

総務文教厚生常任委員会			
委員長	佐	田	元
副委員長	杉	山	肇
委員	美	島	盛秀
委員	永	田	誠
委員	清	平	二
委員	大	河	善市
委員	井	上	和代

経済建設常任委員会			
委員長	樺	山	一
副委員長	福	留	達也
委員	前	徹	志
委員	上	木	千恵造
委員	岡	林	剛也
委員	牧	本	和英
委員	久	保	量

議会運営委員会	委員長 福留 達也 副委員長 杉山 肇 委員 樺山 一・永田 誠・佐田 元
徳之島地区消防組合議員	岡林 剛也・佐田 元・牧本 和英
徳之島地区介護保険組合議員	美島 盛秀・杉山 肇・久保 量
徳之島愛ランド広域連合組合議員	清 平二・大河 善市・井上 和代
議会選出監査員	上木 千恵造
議会広報委員	委員長 牧本 和英 副委員長 杉山 肇 委員 美島 盛秀・永田 誠・久保 量

議員定数:14名

現議員数:14名任期(令和4年2月3日~令和8年2月2日) ※委員会構成第1次

新議員のご挨拶



伊仙町議会議員
井上 和代

「女性目線を町政へ」

子供達の環境、子育て環境、目の前の子供達に何が出来るか、子育て中のお母さんをどう手助け出来るか、私自身、子育て、とつても楽しかったです。でも本当に大変でした。

してはいけない事、なくてはならない事、あぶない事、歯を磨かせる事等など一つ一つを何度も何度も教え続けるのです。子育てのお母さんは、体力・気力・忍耐力が必要です。心理的、体力的負担はかなり大きなものです。でも母親は子供の笑顔で頑張れる。子育て支援策の充実イコールお母さん支援策の充実でありたいと思います。

未来の子供達の環境、ゴミ問題、リサイクル、リース、子供達がやりたい農業、やりたい畜産と一緒に考えたい。

日頃、生活の中で感じた事を私達一人一人が考え話し合い、その声を私は、女性代表として、町政の中で声を出していきたいと思えます。



伊仙町議会議員
久保 量

伊仙町町制施行60周年を迎える節目の年に、町議として皆様の暮らしを支えることができることは大変光栄であるとともに、身が引き締まる思いであります。南大島農業共済組合に勤務した40年間、お支え頂いた農家の皆様に恩返しをしたい一心でございます。

先日、大島高校野球部がチーム一丸となり春の高校野球選抜大会出場という快挙を成し遂げました。一人では成しえない事も、皆で力を合わせたら大きな事を成し遂げられる、まさに彼らが示してくれました。「共に助け合い、共につくる大きな歓びを」をモットーに、世界自然遺産登録や子宝の島として注目を集めている今、全国に誇れる伊仙町を町民の皆様とともにつくりあげて参る所存でございます。最後に、新型コロナウイルス感染症が再び猛威を振るう中、日々戦っている医療従事者の方々をはじめ、関係者の皆様のご尽力に敬意と感謝を申し上げます。一日も早い収束を願ひ私の挨拶と致します。



伊仙町議会議員
大河 善市



町民の皆様方、今回の伊仙町議会議員選挙におかれましては多くの方々のご支持をいただき伊仙町議

会議員として町制施行60周年の節目の年、また新庁舎建設と、め度たい年に議会議員として活動が出来ますことに感謝申し上げます。

これまでの36年間の農業関係の仕事・4年間の集落区長の経験を生かして多くの町民の皆様方の声を町政へ届けて住みよい伊仙町づくりに行動力・実行力・即戦力として初心を忘れずに頑張っていきたいと思えます。

今後とも、皆様方のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

伊仙町教育委員及び議会選出監査委員の
選任結果について

令和4年第1回臨時会(2月4日)において、教育委員3名、議会選出監査委員1名が次のとおり選任されました。

【伊仙町教育委員】

- 同意第1号…直江 宏晃さん(伊仙町阿三)
- 同意第2号…富本 哲弘さん(伊仙町面縄)
- 同意第3号…松永 晶子さん(伊仙町阿三)

【議会選出監査委員】

- 同意第4号…上木 千恵造議員(伊仙町伊仙)

令和3年第5回臨時会(11月30日) 議案・審議・議決結果

議案番号	件名	議員名(議席番号順)														議決結果		
		杉山肇	牧本和英	西彦二	佐田元	清平二	岡林剛也	牧徳久	上木千恵造	永田誠	前徹志	明石秀雄	樺山一	美島盛秀	福留達也			
議50	伊仙町過疎地域持続的発展計画の策定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決

令和3年第4回定例会(12月7日~10日) 議案・審議・議決結果

議51	伊仙町辺地総合整備計画の一部変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議52	伊仙町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議53	伊仙町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議54	令和3年度伊仙町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議55	令和3年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議56	令和3年度伊仙町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議57	令和3年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議58	令和3年度伊仙町上水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議59	令和3年度伊仙町役場新庁舎新築工事(1期本体工事)(1期地盤改良工事)(1期外構工事)請負契約の締結	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	—	可決

令和4年第1回臨時会(令和4年2月4日) 議案・審議・議決結果

議案番号	件名	議員名(議席番号順)														議決結果	
		井上和代	久保量	大河善市	杉山肇	牧本和英	佐田元	清平二	岡林剛也	上木千恵造	永田誠	福留達也	樺山一	美島盛秀	前徹志		
同1	教育委員の選任	投票による表決(投票総数12票 賛成10票 反対2票)														—	同意
同2	教育委員の選任	投票による表決(投票総数12票 賛成12票 反対0票)														—	同意
議1	前里屋敷の設置及び管理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議2	令和3年度伊仙町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
追加同3	教育委員の選任	投票による表決(投票総数12票 賛成9票 反対3票)														—	同意
追加同4	伊仙町監査委員の選任	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	○	○	○	○	○	—	同意

【表の見方】議：議案 同：同意 追加：追加日程 ◎：全会一致 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 —：表決権なし
 ※福留達也議員、前徹志議員は議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決(賛成、反対の意思表示)権はありません。

令和3年 第4回定例会

一般質問



永田 誠 議員

今後の住宅政策について

問 町長の所信表明の中で、単身者向けの住宅建設を進めていくとあったが詳細を問う。また、住宅政策の推進により、小規模校区をはじめ多くの住宅が建設されているが、防犯灯や街灯設備等の周辺整備を行う考えはないのか問う。

答 (町長) 6期目の大きな政策として、「人口増加

するまち」を掲げた。これは今後、東京や大阪などの大都市圏において何万人、何十万人という介護難民が間違いなく出てくる。その受け皿として、また特に出身者の方々が地元に戻って来ることができるよう単身者向けの住宅も今後必要となってくると思うし、そのような方々が介護を必要とした時には介護職の新たな雇用も生まれてくると考えている。

(建設課長)

現在、町が管理している住宅敷地内に関しては、建設時に街灯を設置している。しかし老朽化により機能していない街灯等もあるため、調査を行いながら順次修繕を行っていききたい。



新築工事が進む西犬田布団地

町内観光施設の整備について

問 小笠原諸島の海底火山の影響により、伊仙町内においても軽石の漂着が確認されているが、水産業や観光施設への被害は出ていない

のか。また、喜念浜遊歩道の整備・改修を行う考えはないのか問う。

(経済課長)

答 本町の漁業関係においては、出船困難などといった報告は現在までになく、一時面縄港への軽石漂着が確認されたが建設課において対応を行った。

また、鹿浦港、前泊漁港の沖合で目視による漂流が確認されているが、迂回しながら漁業を継続されているとの事であった。

(ぎゅらまち観光課長)

観光施設への漂着は確認されているが、現在までに直接的な被害はなく、今後観光地を優先して回収作業を行っていく。また、喜念浜の整備・改修に関して、遊歩道内の木製階段と休憩所3カ所の修繕を今年度中に計画しており、今後中長期的な視点で各観光施設の管理及び整備を進めていきたい。



劣化により腐食が進む休憩所 (喜念浜)

小規模校区における人口増加の取り組みについて

問 人口増加の問題については全国的な課題でもあるが、町として今後の小規模校存続に關しどのような対策を行っていくのか。また、特別認可制度の詳細を問う。

(教育長)

答 本町でも人口は減少傾向であるが、一方で15歳未満の児童生徒は、こ

こ10年で125名程度増加している。しかし、いくつかの小規模校存続が危惧されていることから、来年度より小規模校1校を特別認可制度として進めていく。現在、町内小学校には中規模校3校、小規模校5校があるが、小規模校5校から中規模校3校への転入学はしない事を進めていく。また、この制度は町外からも受入れ可能であり、様々な方面から児童を募っていき今後小規模校存続に努めていきたいと考えている。

問

通学上の条件として、自宅からの通学(保護者の送迎、または町のバス利用も可能)となっているが、このバス利用に関して保護者負担が発生するのか問う。

答

令和4年度から、町内1校を特認校制度として進めているが、バス通学に関しては、長寿子宝社と委託契約を結び、保護者負担が発生しないような形で

(教委総務課長)

進めていく。

要望

ぜひ小規模校をなくさないためにも、特認校制度や山村留学、ふるさと留学制度などを活用し、存続できるよう進めていただきたい。

【用語解説】

小規模校特別認可制度(特認校制度)とは

・各市町村立の義務教育諸学校では、その学校ごとに通学区域が決まっています。が、過疎化が進んでいる地域の学校など教育委員会が認めた場合に限り、就学すべき学校以外に就学することを認める制度のことをいいます。

徳之島町においては4小学校、3中学校が、天城町においては3小学校、1中学校が特別認可制度の開設計校となっている。



町長選挙について

問

10月17日執行された町長選挙は、町を2分した激しい選挙であったが、これからの町政の舵取りをどのように考えているのか問う。

答

どこよりも愛郷心があり、そして島に対する思いも強い町のエネルギーを一つにまとめ、皆が同じ方向に進んでいけるような町長の判断すべきあらゆる事案は公平に、そしてノーサイドでいく。また、議会の方々ともしっかりと議論

(町長)



美島 盛秀 議員

を交わし、是々非々という考えの下、オール伊仙町という形を作り出し町発展に努めていきたいと考えている。

大久保町長の誠の政治力について

問

大久保町長の5期20年を総括して省みたと、あまりにも多くの課題を残しての6期目のスタートだと考えられるが、伊仙町堆肥生産組合未収金問題のその後の進捗状況を問う。

答

知人等を伝って連絡先を伺っている状況であるが、依然として本人の連絡先が得られていない。9月議会において、土地の話をしたが、現在その土地の名義が息子へ変わっているとのことであり、今後本人ないしその息子の住所等を多方面から情報収集し、解決へ向けて努力していきたい。

(町長)

答

現在、本人との連絡が取れず、知人等に連絡先を伺っているが未だ把握できない状況である。また、文書による請求や連絡等を配達証明つきで送付しているが、こちらも不達であり、本人と早急に連絡を取るために捜査をしている段階である。

問

町長は9月議会において、早急に本人と連絡を取って会いに行き、解決策を見つけると答弁したが、その点に関し努力はしたのか問う。

(経済課長)



伊仙町堆肥センター (古里)

問 糖業振興会における使途不明金について、早急に解決しなければ、国からの補助金や農家への助成等への影響が生じてくると思われるが、解決の目的は立っているのか。その後の進捗状況を問う。

(経済課長)

答

現在、刑事告訴については、警察の指示により告訴状の修正及び資料の提供等を行っており、民事訴訟については、9月議会において訴えの提起及び

び裁判費用等の予算が可決されたので準備を行っている状況である。また、本件解決の目的に関しては、全員協議会等でも説明したとおり、裁判等を含め2、3年程度はかかるのではないかとこのように弁護士の見解である。

問

11月1日付の人事異動で、1年も経過せず異動となつた課長がいるが、本当にその職員を信頼して課長に任命したのか。以前は、町長選挙絡みの感情的な部分もあつたと感じられることがあつたが、私は様々な観点からこのような体質を変えなければいけないと考えている。

(総務課長)

答

私の思っている職員と同一の職員のことだと思ふが、これまでの課長としての実績、指導力、それらを考え、課をまとめてほしいと町長からのお願いで

もあり課長を任命したが、今回本人からの申し出もあり、それらも考慮した結果の異動であつた。また、それぞれの業務によって、職員の向き不向きや大変な業務もあるが、若いうちに色々な部署を回り、様々な経験を重ねることで、部下への指導や課の連携が取れるものだと考えている。それらを踏まえ、今後も定期的な人事異動を行い、人材育成を図っていきたくと考えている。



役場庁舎

次回の定例会は3月です!

※議会傍聴に関するお願い (新型コロナウイルス感染症対策)

令和4年第1回定例会は、**3月8日(火)**からを予定しておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、伊仙町議会では議会傍聴について、次のとおり対応いたします。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- 密集・密接を避けるため、傍聴を制限させていただく場合があります。
- マスク着用 (※各自で持参) を願います。
- 手洗い、手指の消毒を徹底してください。(傍聴席入口に消毒液があります。)
- 咳エチケット、間隔を空けての着席にご協力ください。

※当日、熱 (37.5度以上) のある場合や、体調不良 (だるい、咳が出る等) の場合は傍聴をお控え下さい。

なお、第1回定例会におきましても、「YOU TUBE LIVE」でのライブ中継や録画映像をご覧ください。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。 電話 86-3111 (内線16番)



議会の動き

令和3年第4回伊仙町議会定例会における諸般の報告 (議長の動静)
 動静期間：令和3年第3回定例会以降の分

月	日	行事名	場所
10	28日	令和3年度木の日の要望活動 (木材需要拡大に関する要望活動) 徳之島地区森林組合他関係者来庁	町長室
	30日	天城町町制施行60周年記念式典	天城町防災センター
11	8日	ジャパンハート吉岡氏来庁 (企業版ふるさと納税関連)	町長室
	11日	奄美群島広域事務組合議会定例会	奄美市
	13日	県主催世界自然遺産登録記念式典	徳之島町文化会館
	13日	なくさみ館、面縄港等視察 (県副知事・森山代議士・国交省)	町内
	15日	全国過疎地域連盟第52回定期総会	東京
	17~18日	奄美群島農業農村整備事業推進協議会中央要請活動	農水省・国交省等
	18日	徳洲会本部訪問	東京

月	日	行事名	場所
11	25日	経済建設常任委員会県外視察	石巻市
	26日	経済建設常任委員会県外視察	仙台市
	30日	第5回伊仙町議会臨時会	議場
12	1日	日本マルコ会長来庁 懇談会	ほーらい館
	2日	企業版ふるさと納税関連企業 (株)モンベル来庁 懇談会	崎原集落公園
	3日	水道運営審議会	中央公民館
	3日	議会運営委員会	議会委員会室
	5日	宝ランドまつり	なくさみ館

※ 掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承下さい。

広報編集委員も新メンバーで
スタートしました!



第1回広報委員会を終えて (議会委員会室にて)

令和4年2月22日(火)に、新メンバーで第1回広報委員会を開催いたしました。
 小さなお子さんから高齢者までの幅広い世代の方々に、親しみやすく、読みやすい紙面づくりに向けていきますので、どうぞ今後ともよろしくお願いたします。

編集後記

町民の皆様、毎日のお仕事お疲れ様でございます。
 いまだ新型コロナウイルス感染症の影響で経済はもとより伝統文化にも影響が生じ、スポーツ界においても無観客開催を余儀なくされ、子どもたちの運動会等も人数制限の中開催し、観客の声援を力に変えることのできない状況であります。

昨夏、私たちの徳之島も世界自然遺産に登録され、今後島の観光業にも期待されるところでありますが、新型コロナウイルス感染症が一日も早く終息し、皆様の元気な笑顔が見られますようご祈念申し上げます。

さて、私ども伊仙町議会におきましては、1月に行われました町議会議員選挙にて14名の議員が誕生し、新たな議会構成のもと、今後も活発な議論を行い、町政発展のため、努力してまいります。

私たちが広報編集委員も新メンバーでスタートし、子どもから高齢者の方々の声をしっかりと町政へと届け、より分かりやすく親しみやすい「議会だより」を目指し取り組んでまいります。

最後に、農繁期で大変忙しい日々が続きますが、安全最優先で感染症対策を行い体調には十分お気をつけて頑張ってください。

(文責 牧本 和英)

議会広報編集委員会



- 委員長 牧本 和英
- 副委員長 杉山 肇
- 委員 美島 盛秀
- 委員 永田 誠
- 委員 久保 量